



## 小京都梁川ガイド

# やながわ史跡のみどころ

— 伊達氏のルーツを訪ねる —  
きっと新しい発見が



まちの駅やながわ

〒 960-0741 福島県伊達市梁川町大町一丁目 60  
TEL 024-573-7235 FAX 024-573-7236  
[管理者：NPO 法人伊達氏のふるさと梁川会]



3 梁川八幡神社本殿



7 梁川城本丸跡本丸館復元模型（福島県立博物館蔵）



① 興国寺

### ① 興国寺

(松前家奇進駕籠、道広侯筆扁額等は、市指定文化財)

上杉氏の若松移封により梁川城代となった須田大炊介長義、旧地信濃国の興国寺より住持誓岩和尚を招き、慶長7年(1602)8月6日、現在地に曹洞宗「臥龍山興国寺」として建立、開山した。

当時は、各地より数多くの雲水が参集、大叢林をなし、「奥州梁川の興国寺」の偉名を轟かせるに至った。

貞享5年(1688)2月、梁川藩主松平出雲守の推挙により、幕府寺社奉行より禄所免許あり、僧禄司触頭となる。二世、三世和尚の勧請開山によって、信達21か寺の門葉寺院が生まれた。

境内には、須田満親、長義父子の浄慶廟をはじめ、松前藩13世道広侯筆の扁額等が所蔵されている。境内には名僧新井石禅師の銅像が見られる。

■所在地：伊達市梁川町字大町二丁目 49

### ② 梁川天神社

(松前藩家老蠣崎波響寄進石灯笼は市指定文化財、明治丈量図絵馬は県指定文化財)

社伝では、永観年中(983)、伊達家の遠祖に当たる山陰中納言政朝が、霞ヶ岡(現鶴岡)に仮城を築いた時、北郭に社殿を建て、菅原道真公の御霊を勧請して天満宮と号した。

文治5年(1189)の役戦功により、伊達の地を賜った朝宗の子宗村が建久(1190)のはじめ、梁川霞ヶ岡の城を改築した時、天満宮の宮跡を再興し、藤原の氏神の春日大社より、武甕槌、経津主、天兒屋根の三神を奉請、城中守護の神として崇敬した。

現在地に移ったのは、天正4年(1576)15代伊達晴宗の代である。

寛永12年(1625)、上杉氏の梁川城代の須田長義が社殿を改修、享保14年(1729)松平通春が境内に別宮の東照宮を勧請した。



② 梁川天神社

現社殿は、明治27年(1894)に再建され現在に至る。

■社務所：伊達市梁川町字上町 10

☎ 024-577-0227

(梁川八幡神社参拝記念の御朱印は梁川天神社社務所で一緒に扱っています。)

### ③ 梁川八幡神社

(境内地・県指定史跡名勝、本殿・市指定文化財)

梁川八幡宮由緒によると永観2年(984)に創建、承安年中(1171～1175)再建が行われ、奥羽から多数の工人を集め、3年がかりで完成し三重塔を建てたと伝える。

応永33年(1426)11代伊達持宗が、元亀2年(1571)には、16代伊達輝宗が再建している。伊達氏の祖朝宗が高子ヶ岡に勧請したとされる亀岡八幡は、伊達氏の本拠梁川城築城の際に梁川八幡に合祀された。

伊達66郷の総社として伊達家の篤い庇護の下、中世伊達領の総鎮守であった。17代政宗も天正10年(1582)4月、戦勝祈願に訪れている。

当時の祭礼は、4月1日と8月15日で8月の祭礼には、流鏝馬神事が執り行われ市が開かれていた。応神天皇など戦いの神3柱が祀られている。

■所在地：伊達市梁川町八幡字堂庭地内

### ④ 龍宝寺

(山門、鐘楼、観音堂の33観音像は、市指定文化財、境域は県史跡名勝地)

真言宗龍宝寺の寺伝では、奈良時代に長谷寺開山の徳道上人の弟子、空道上人が開いたという。もと梁川城の東、菅蒲沢にあった。

龍宝寺は、梁川八幡宮の別当寺で、伊達氏の祈願寺でもあり江戸期は亀岡寺と称した。山門は、医薬門の形式で、ふくらみのある茅葺「むくり屋根」になっている。

鐘楼も茅葺屋根で、大変趣のある建築物。

観音堂は、文明3年(1471)に伊達成宗が再建し、鬼石観音とも称され信達三十三観音巡礼



④ 龍宝寺

の第三十三番結願礼所。現観音堂は、享保3年(1713)の建立。

■所在地：伊達市梁川町八幡字堂庭 12

### ⑤ 大枝城跡

応永20年(1413)、伊達氏8代宗遠の三男孫三郎宗行が大枝城に居城し、大條氏を称したのに始まる。本丸跡や二の丸周辺の土塁・空堀・曲輪が残されている。

文明15年(1483)、伊達成宗の上洛に従い伊達氏の重臣として活躍をしている。

天文の乱において、宗家は、晴宗方として活躍した。

天正19年(1591)、伊達氏領が宮城県域・岩手県南部地域へ移された時、7世宗直は、伊具郡大蔵村へ移る。のちに相馬氏に近い坂元要害に移り幕末まで守った。

■所在地：伊達市梁川町東大枝字

### ⑥ やながわ希望の森公園

広大な面積を誇る園内には、ミニSL「さくら1号」、アメリカロッキー山麓のパイン材のログハウス「モンタナロッジ」、野草・薬草園、フィールドアスレチック、児童遊具等がある。

春は、咲き競う100種・約2000本の桜の樹下の花見が、夏は、キャンプ、秋は、芋煮会等自然の中で楽しめる公園です。

公園内の古民家(お林の里)は、江戸末期の農家で、信達地域が一望できる里見山にあります。

■開園期間：4月～11月まで(入園無料)

■公園内の産業伝承館：自由に休憩できる(伊達市梁川町字筒下 14 ☎ 024-577-6888)

### ⑦ 梁川城跡

(本丸庭園、北三の丸跡は県指定史跡名勝)

伝承では永観年間(983～85)に山陰中納言藤原政朝が霞ヶ岡に仮城を築いたとされるが、築城は発掘調査などから13世紀中期頃と考えられている。それ以後、植宗が天文



⑦ 北三の丸跡土塁



⑧ 古町観音堂



⑨ 伊達市梁川美術館



⑩ 龍宝寺

## 〈歓迎〉まちの駅やながわ

歴史と文化のまちづくり事業により整備しました「まちの駅やながわ」は、伊達氏のふるさと梁川の城下中央にあり、歴史めぐりに利便性の高い位置にあります。

観光でおいでいただく皆様のためにおもてなしの心でお迎えしています。

この「まちの駅やながわ」は、みなさまが梁川史跡めぐりの際に出発点として利用していただくため案内ガイドの窓口として、又休憩所としてお気軽にお立ち寄りくださるようお待ちしております。

- 観光案内（ガイド）の窓口です。
- 特産品販売コーナーには、梁川のおみやげ品を揃えてあります。
- くつろぎコーナーでは、昼食が出来ます。（団体は事前の予約が必要）
- 梁川ならではの特色ある郷土の文化を知っていただくためのミニ展示コーナーを設けています。

※まちの駅やながわは、年末年始を除いて年中無休で営業しています。

（営業時間は毎日午前9時～午後6時まで）

※ 駐車場は大型バス駐車が可能です。

- 所在地 伊達市梁川町字大町一丁目 60
- TEL 024-573-7235

### 〈伊達市関連施設の案内〉

- ①**伊達市歴史文化資料館（亀岡邸舎）**
- 所在地 伊達市保原町大泉字宮脇 265
- TEL 024-575-1615

### ②**寿健康センター**

大浴場、休憩所、小体育場の他、屋内ゲートボール場が併設されている。

- 入館料：市民 100 円、他市町村者 300 円
- 休館日：日曜、祝日
- 営業時間：9 時～16 時まで  
（入浴は、10 時～15 時半まで）
- 連絡先：伊達市梁川町字菖蒲沢 84  
☎ 024-577-7841

### 〈伊達市観光物産交流協会〉

※観光案内ガイドの申し込みは、伊達市観光物産交流協会にご連絡いただきますとボランティアガイドを手配できますので、事前にお気軽にご相談下さい。

- 所在地 〒960-0671  
伊達市保原町東野崎 45-9
- TEL 024-529-7779

### 交通連絡先

阿武隈急行（本社）…… ☎ 024-577-7132

梁川タクシー…… ☎ 024-577-1141



⑤大枝城跡

⑦梁川城跡本丸庭園「心字の池」

元年に桑折西山へ移るまで伊達氏の府城として機能した。

11代持宗～14代植宗の時代は、奥州探題、奥州守護職の地位にあり、中央と深いかかわりの中で、京都東山文化を取り入れ、本丸庭園に「心字の池」を配するなど、往時の伊達氏の勢力と文化の高さを示している。

17代政宗の叔父伊達宗清入道鉄斎（梁川氏）が居城の間、政宗は天正10年に梁川八幡宮を参詣し梁川城に逗留している。

伊達氏の米沢移封後、蒲生氏郷が若松城主となり、子息秀行の代に、蒲生喜内が梁川城1万3千石となった。

慶長3年（1598）、上杉景勝が若松城主となり、4月に須田長義が梁川城代に配された。

天和3年（1683）徳川御三家尾張の分家松平梁川藩が3万石で西三の丸に陣屋を構えた。菩提寺称名寺の毘沙門堂の瓦には、葵紋が施され位牌等も見られる。

その後、磐城平藩の井上氏や安藤氏に分領となり、文化4年（1807）には、松前氏が梁川に移封、再び本丸に本政庁を建造した。

### ■本丸：伊達市梁川町字鶴岡1

（本丸跡及び北三の丸跡は福島県史跡指定）

### ⑧古町観音堂

（聖観世音菩薩坐像・六角堂厨子は、市指定文化財）  
信達三十三観音巡礼の第三十番札所である。文明17年（1485）の再建と伝えられている。古くは、利生寺観音・利生寺殿観音と呼ばれていた。聖観世音菩薩坐像は、寄木造りで柔らかな優しい顔立ちの「観音様」。室町15世紀の作である。

貞享2年（1685）に修理され、当時の梁川藩主松平義昌や側近の銘が見える。

### ■所在地：伊達市梁川町字古町 23

### ⑨伊達市梁川美術館

一階は、梁川町に生まれ日本彫塑界の巨匠故太田良平氏の記念ホールです。

二階は、市民ギャラリーです。

■休館日：月曜日（月曜日が祝日のときは、翌日休館）

■連絡先：伊達市梁川町字中町 10

☎ 024-577-2656

### ⑩称名寺毘沙門堂と大イチョウ

（イチョウは市の天然記念物、毘沙門天像は市指定文化財）

市街地の中心に位置する称名寺は、梁川藩主松平出雲守3万石の菩提寺で毘沙門堂がある。境内のイチョウは樹高、約30メートル、幹周り6.2メートルの雄の大イチョウは緑の文化財。天正10年（1582）寺が創建された当時から生えていたと伝えられる。

### ■所在地：伊達市梁川町字右城町 81

### ⑪本覚寺楼門

（楼門は、市指定文化財）

楼門の建立は、天保12年（1841）とみられる。二階建て、四脚門形式で入母屋作り。

軒垂木や蛙股、妻飾り、破風等の細工は、高度な技術を駆使している。風格が感じられる総檜造りの建築物。

### ■所在地：伊達市梁川町字内町 41-4

### ⑫粟野地蔵堂

「粟野地蔵様」と呼ばれ、延命・子授けのご利益があると信者が多い。

「奥州伊達郡粟野地蔵尊略縁起」によると、この地の茶屋で茶を所望した弘法大師を娘が慕い、大師の飲み残した茶の泡を飲んで妊娠出産。子供が三歳になった折、再び訪れた大師は、その子を再び泡に戻し、娘の妄念であることを悟らせた。この時、大師は、子供の追福のため、四寸六分の地蔵を刻んだのが「泡の地蔵」で、後に「粟野地蔵」となったと伝えている。

春の彼岸の中日が縁日で、12年に一回、丑年のご開帳には多くの参拝者で賑わう。

### ■所在地：伊達市梁川町粟野字堂内 22



称名寺毘沙門堂



⑪本覚寺楼門



⑫粟野地蔵堂

# やながわ史跡めぐりコース

Aコース (ピンク) Bコース (緑)

まちの駅やながわ

- |          |           |              |           |
|----------|-----------|--------------|-----------|
| 1 興国寺    | 0.2k: 3分  | 6 やながわ希望の森公園 | 1.7k: 25分 |
| 2 梁川天神社  | 0.3k: 5分  | 7 梁川城本丸跡     | 1.5k: 22分 |
| 3 梁川八幡神社 | 0.9k: 13分 | 8 古町観音堂      | 0.5k: 7分  |
| 4 龍宝寺    | 1分        | 9 梁川美術館      | 0.4k: 6分  |
| 5 大枝城跡   | 2.5k: 37分 | 10 称名寺毘沙門堂   | 0.2k: 3分  |
|          |           | 11 本覚寺楼門     | 0.2k: 3分  |

まちの駅やながわ



まちの駅  
やながわ



- 凡例
- 🍷 お土産店(特産品)
  - 🏪 コンビニ
  - 🏪 スーパー

伊達市観光ポータルサイト  
「だてめがね」

伊達市観光 PR アニメ  
「政宗ダテニクル」  
動画サイト YouTube はこちら